

平成 15 年 12 月期 第 1 四半期業績概況 ( 連結 )



平成 15 年 5 月 9 日

会 社 名 株式会社ソルクシーズ  
 コー ド 番 号 4284  
 (URL <http://www.solxyz.co.jp>)  
 問 い 合 わ せ 先 責任者役職名 取締役管理本部長  
 氏 名 秋 吉 邦 彦  
 取 締 役 会 開 催 日 平成 15 年 5 月 9 日

登録銘柄  
 本社所在都道府県 東京都

T E L ( 03 ) 3740 - 0700

1 . 平成 15 年 12 月期第 1 四半期の業績概況 ( 平成 15 年 1 月 1 日 ~ 平成 15 年 3 月 31 日 )

	平成 14 年 12 月期 第 1 四半期	平成 15 年 12 月期 第 1 四半期	対前年同期比 増減率	平成 14 年 12 月期 通期
	百万円	百万円	%	百万円
売上高	1,758	1,859	5.7	7,971
営業利益	58	37	36.2	300
経常利益	56	30	45.1	292

- (注) 1. 四半期の業績については公認会計士または監査法人による会計監査を受けておりません。  
 2. 当四半期末における連結対象子会社は、前期末比 1 社増加し、3 社であります。持分法適用関連会社はありません。  
 3. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

[ 経営成績の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当四半期におきましては、金融機関の不良債権の拡大や株価の大幅下落、米国経済の不安定要因など悪材料が積み重なり、企業の投資が非常に冷え込んだ状態が継続致しました。IT 投資につきましても低迷した状況が続いており、本格的な回復はマクロ経済の回復とともに 2003 年後半以降にずれ込む見通しであります。

当社グループの当四半期の売上高につきましては、上記の業務環境の影響が避けられず、事務機器販売を除くソフトウェア開発等では前年同四半期比 17.8% の 1,432 百万円となりましたが、事務機器販売で大型案件の獲得により 427 百万円と好調であった結果、売上高合計では前年同四半期比+5.7% の 1,859 百万円を計上致しました。

利益面では受注条件の悪化などが響き、営業利益、経常利益はそれぞれ 37 百万円 ( 前年同四半期比 36.2% )、30 百万円 ( 前年同四半期比 45.1% ) の計上に留まりました。

なお、今年度は業務環境を踏まえ、下期重視の年度計画としており、当四半期の売上高及び各利益とも計画を上回っております。

## 2. 財政状態（連結）の変動状況

	平成 14 年 12 月期 第 1 四半期末	平成 15 年 12 月期 第 1 四半期末	対前期末 増減率	平成 14 年 12 月期 期末
	百万円	百万円	%	百万円
総資産	5,171	6,247	18.1	5,287
株主資本	2,042	1,932	3.8	2,010

### [ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

財務面では固定低金利資金確保を目的とする普通社債の発行（3月、2億円）、大型機器販売による売掛金増大などにより一時的に資産、負債とも大幅に増加し、前期末比で借入金・社債が774百万円、現預金が661百万円、売掛金・受取手形が94百万円それぞれ増加しております。

なお、社債は4月に更に1億円を発行する予定であります。又、第2四半期において社債発行に見合う借入金の返済を予定しております。

## 3. 平成 15 年 12 月期の連結業績予想（平成 15 年 1 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	3,571	93	41
通 期	8,129	428	213

### [ 業績予想に関する定性的情報等 ]

平成 15 年 2 月 10 日に発表しております平成 15 年 12 月期の業績見通しは上記のとおりであります。本見通しは現在の段階では変更しておりません。なお、平成 15 年 3 月に銀行向けソリューション事業に特化した子会社（株式会社エフ・エフ・ソル）を設立し、4 月から営業を開始しておりますが、平成 15 年 12 月期の中間および通期の連結業績への影響は軽微であると思われま

### [ 当社グループの四半期業績の特性 ]

当社グループの売上高および利益は第 4 四半期（10 月～12 月）にやや多く計上される傾向があります。又、上期（1 月～6 月）及び下期（7 月～12 月）の構成をみた場合、売上高、利益とも下期の比重がやや大きくなる傾向があります。

この四半期毎および半期毎の業績変動は、当社グループの従来からある業界的特色でありましたが、経済情勢を踏まえ、今期中間期・通期の業績予想においては売上高、利益とも例年以上に下期にウェイトをおいた業績予想としております。

### [ 見通しに関する留意事項 ]

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定及び確信に基くものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは見通しに内在する不確定要因や潜在的リスク等さまざまな要因によって、実際の業績は見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。なお、リスクや不確実な要因には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響等も含まれます。

(参考)

1. 15年12月期第1四半期の個別業績(平成15年1月1日~平成15年3月31日)

	平成14年12月期 第1四半期	平成15年12月期 第1四半期	対前年同期 増減率	平成14年12月期 通期
	百万円	百万円	%	百万円
売上高	1,676	1,817	8.4	7,678
営業利益	53	45	14.2	310
経常利益	51	39	23.4	303

	平成14年12月期 第1四半期末	平成15年12月期 第1四半期末	対前期末 増減率	平成14年12月期 期末
	百万円	百万円	%	百万円
総資産	4,991	6,078	18.4	5,136
株主資本	1,994	1,906	3.4	1,974

2. 平成15年12月期の個別業績予想(平成15年1月1日~平成15年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	3,400	87	38
通期	7,800	410	203